

夏休みの宿題を  
中高生がお手伝い



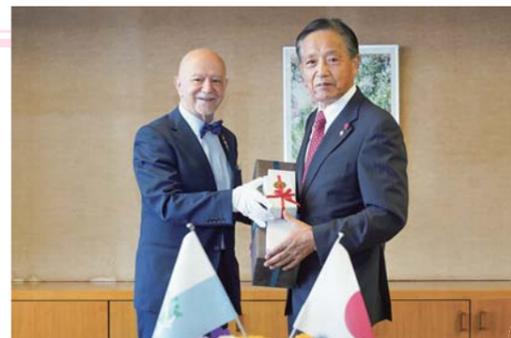
8月18日、市中央公民館で夏休みボランティア「なつやすみ宿題手伝い隊」が行われました。これは、市内の中学校・高校に通う子どもたちで構成されるジュニアリーダー組織「鹿屋っ子ジュニアリーダークラブ」が主体となって企画・実施したものです。当日参加した8人の小学生は、先生となった10人のクラブ員のサポートを受けながら夏休みの宿題を進めていました。

空き家の悩みを  
ワンストップ相談



8月14日、リナシティかのやで「空き家相談会」が初開催されました。この相談会はお盆の帰省に合わせて、空き家の活用や相続、解体などに困っている人を対象に実施し、様々な相談がワンストップでできるように専門家を呼んで実施。参加者からは「どこに相談したら良いかわからなかったのが良い機会になった」との声が聞かれました。次回は2月に開催を予定しています。

国境を越えたガスト  
ロノミーを目指して



8月8日、サンマリノ共和国のマンリオ・カデロ駐日特命全権大使が市役所をご訪問されました。閣下は、157か国の駐日外交団長を務められ「かごしま国際友好大使」としてもご活動。今回の訪問は、大隅や宮崎の食材を活かしたガストロノミー（交流）に取り組むために行われ、閣下は「鹿屋を含む九州は食材の宝庫であり、この素晴らしいさを世界に伝えていきたい」と想いを語られました。



かのやのホットな話題をお届け!

脱炭素社会に向け  
環境問題を学ぶ



8月21日、リナシティかのやで「鹿屋市環境フォーラム2022」が開催されました。これは、環境にやさしい暮らしについて家族で関心を持ってもらう目的で行われたもの。当日はMBCパーソナリティの柴さとみ氏による講演や次世代自動車の展示のほか、企業やボランティア団体による脱炭素社会に向けた取り組み等の紹介なども行われ、参加者は環境問題について楽しく学んでいました。

鹿児島市内で  
カンパチフェア



8月20日、よかど鹿児島本店（鹿児島市金生町）で「かのやカンパチまつり」が開催されました。これは、かのやカンパチの魅力発信や、昨年鹿児島市内にオープンしたみなと食堂2号店のPRのために鹿屋市漁業協同組合が主催したものです。会場ではカンパチ即売会やテイクアウトメニューの販売が実施されたほか、親子で作る押し寿司体験には多くの親子連れが参加しました。

都会や地元、未来を  
高校生と語る



8月10日、鹿屋女子高校で「高校生が未来を語る会」が開催されました。3回目となる同イベントでは、鹿児島市内で活躍するUIターン者の馬場恵里奈氏、木下源龍氏、千葉愛・真吾夫妻の3組が講師を務め、「住み続けたい、将来帰ってきたい地元」について講話。参加した14人の高校生から「地元の魅力を伝えられる人になりたい」「自分の街に誇りを持ちたい」などの感想が寄せられました。

国体を記念してマウ  
ンテンバイクフェス



8月7日、霧島ヶ丘公園内マウンテンバイクパークで「かのやマウンテンバイクフェス2022夏」が開催されました。これは、来年開催される「特別国民体育大会燃ゆる感動かごしま国体」を記念して行われた大会で、今回で3回目の実施。大会では120分耐久レースやキッズアタックなど3種目が開催され、参加した31人のライダーたちは夏空の下、起伏の激しいコースを懸命に走り抜けました。



雨上がりの星空の下で  
天体観測

8月21日、「神野」山の学校キャンプ場で「夏の「神野」星空観覧会」が開催されました。小中学生など40人が参加し、リナシティかのやプラネタリウム解説員らによる天体の話や、天体望遠鏡で夏の星空観察を楽しみました。



鹿児島空港に  
鹿屋市PRブースを設置

8月20日・21日、鹿児島空港開港50周年イベントにおいて鹿屋市のPRを行いました。当日は特設ブースを設置し、市の特産品である牛肉やうなぎ、落花生などを販売。多くの旅行者が本市の特産品を求めてブースを訪れました。



ドッジボール県大会で  
3位入賞

8月19日、「第31回全日本ドッジボール選手権鹿児島県大会」で3位に入賞したBLAZE KANŌYŌAの選手が市役所を訪れました。笠野原小学校の児童で構成される同チームは、9月に大崎町で開催される九州親善大会に出場します。



中学生男子柔道で  
全国大会出場

8月17日、「令和4年度鹿児島県中学校総合体育大会柔道競技大会」の男子団体戦及び男子個人戦で優勝した鹿屋東中学校柔道部が鹿児島市を訪れました。同部は8月22日～25日に福島県で開催される全国大会に出場します。



町内会の夏祭りで  
地域を盛り上げる

8月13日、東原公園で「ひまわりフェスティバルin東原」が開催されました。同公園の周囲には町内会で植えたひまわりが満開に咲き誇り、参加者は町内会員等による手作りの夏そばやひまわり油などの品々を買って求めています。



企業と連携して  
美化活動を行う

8月10日、始良川古市橋から更生橋間の堤防で除草・清掃作業が行われました。これは始良川かわまちづくりの活動で、早朝から始良川河川愛護会をはじめ小鹿酒造やサクラクレパスといった地元企業も参加し、作業を行いました。